

「感謝を伝える」

南中学校 2年 野原 ゆい

「ありがとう。」

そう言われると、ふと笑顔になります。言われた方も、

「どういたしまして。」

「こちらこそ。」

と言葉に表すと、相手も嬉しい気持ちになります。こんなささいな言葉や行動で、みんなの笑顔が増えていきます。私は、そんな小さな一言が言える人になりたいです。

意識して生活してみると、私は普段「ありがとう。」よりも「ごめん。」という言葉の方をたくさん使っていることに気づきました。例えば、忘れ物を友達が持って来てくれた時。そんな時私は「ごめん。」が先に口から出てしまいます。そして、後になってから、「ありがとう。」と言えよよかったなと思うのです。もちろん、「ごめん。」は悪い言葉ではないと思います。でも、言われて嬉しい言葉でもないと思います。そんな時に、私は考え方を変えてみました。「友達に自分の荷物を持って来させてしまった」と考えていたけれど「友達は自分の荷物を持って来てくれた」と。そう考えることで、自然と「ありがとう。」と言うことができました。その時の私は、自分も嬉しい気持ちになりました。

日常生活の中で感謝することはたくさんあります。人に感謝を伝えることは大切ですが、とても難しいことだと思います。私は、小学生の頃、お母さんやお父さんに感謝の気持ちをあまり伝えることができていませんでした。恥ずかしくて照れくさかったからです。毎日家事をしてくれたり、一生懸命働いてくれたりしているのに、感謝は伝えなければならぬなと思っていますのですが、母の日や父の日に一度伝えただけでした。一度だけだったのに、お母さんもお父さんも嬉しそうにしていました。だから私は、記念日に改めて気持ちを伝えるのではなく、1つ1つのことに対して言葉を伝えようと思いました。例えば、ご飯を作ってくれたときは、「いただきます。」や「ごちそうさま。」を普段よりしっかり言ったり、「おいしかった。」と声に出して言ったりするようになりました。そんな時、お母さんは笑顔で「はい。」と答えてくれました。そんな経験を積み重ね、中学生になった私は、小学生の時よりも、人に素直に「ありがとう。」と言えることが多くなりました。

私は感謝を伝えることは、すごく大切なことだと思います。しかし、感謝を伝えられない人は多いのではないのでしょうか。私のように、「恥ずかしいから」「照れくさいから」という人もいると思います。それなら、毎日意識して生活してみて、お世話になった人や大切な人にどれだけ感謝しているか考えてみてください。そして、その気持ちを言葉にして伝えてみてください。きっと相手も感謝の気持ちを返してくれると思います。そんな時、私も相手にどれだけ感謝されているかということに気づくことができると思います。

私は「感謝できる人」「人に感謝される人」になりたいです。だから、いつでも周りの人に感謝の思いを伝えたり、相手の助けになるような声をかけたりできるように努力したいです。そして、みんなで感謝の気持ちがあふれる社会を作っていきましょう。